

“QUOTATION”

Worldwide Creative Journal

season spring pages 80/color + 8/mono
 year 2010 frequency quarterly
 price 580yen

n° 7

SPECIAL INTERVIEW

ファッションシーンで
 注目のクリエイターたち
Gifted Creatives in the Fashion Industry

DANIEL RIERA
 GARY CARD
 LAURA RULE
 MARTINE SITBON
 JÉRÔME RIGAUD

The Business of Fashion 編集長
 Imran Amed インタビュー

ワイドエン+ケネディ トウキョウ
 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター
 伊藤直樹 インタビュー

COLUMN

いまロンドンで注目のメーキャップアーティスト“Adam de Cruz”
 “BOW”が仕掛けるユニークなオリジナル・プロジェクト
 遊び心が生み出すセクシーな魔法“Undergrowth”
 日常から生まれる“POETTO”の独創的な洋服
 フォントが世界を救う? 非常利団体“SOTA”の活動とは
 UK発“Chris Cairns”監督の麗しの小プログラム・パフォーマンス
 フェミニンとケールの交差点“Charlotte Taylor”
 ロンドンの隠れ家的ハイエンド・セレクトショップ“The Convenience Store”
 時計の魂で時計を作るという発想“Humans since 1982”
 and more...



シカゴの コンセプト・ ショップ “GOLDEN AGE”

text: Naoko Higashi
東直子

シカゴにあるコンセプト・ショップのGOLDEN AGEには、オーナーカップル、マルコとマーティーンのセンスと探究心、そして、真摯な愛が詰まっている。アーティスト・ブックやジン、インディペンデント・マガジン、CDやテープ、洋服、アクセサリ、アート作品など、さまざまな種類のさまざまなかたちを受け入れるお店だ。名前の由来を尋ねると、GOLDEN AGEとは、若さが発するパワーと、若さ故に抱く楽観主義のメタファーで、「THE TIME IS NOW (いまこそ、そのとき)」というポジティブな宣言だという。カルフォルニア出身の2人は、シカゴのカレッジで出会い、卒業後すぐに、若い瞬発力で、まさに宣言とおりのGOLDEN AGEの幕を開けた。

今年2月、2007年のオープンから2度目に引っ越した先は、オフィスビルの一室で、ビル内に4つのギャラリー、道を渡るとさらに4つのギャラリーがあり、角を曲がると、またさらに4つのギャラリーがあるというアートに囲まれた地区。新しいスペースには、キッチンがあることがお気に入りのようで、気が向くとエスプレッソを飲みながら、2人が良

いと思うもの、よく考えられ、上手く落とし込まれたものを探しているという。最近のお勧めを聞くと「いろんな本の表紙を集めた、ロービン・キャメロンの本『The Story』を再入荷したところだよ。アート、デザイン関係のすばらしい本を作る地元の出版社、Whitewallsからの本も大量に届いたばかり」と話す。

また、新進アーティストをサポートするために、委託販売も精力的に行っていて、彼らのウェブサイトからでも、簡単に申込可能。ひと月に20～30タイトルほどが集まるという。ショップ経営以外でも、出版や展覧会のキュレーションを手掛けたり、フェアに出展したり、クリエイティブ・ビジネスについて大学で講義をしたり…と、フットワークの軽い動きをしながら、信頼し合う2人は、変化を恐れないことで、あるべき姿へと…、つまり、GOLDEN AGEであり続ける道を、切り開いていっているようだ。たくさんの魅力的な人々やものが集い、行き交うその道への唯一の手形は、GOLDEN AGEであることなのかもしれない。



1. ISUMI INK CLUBによる「ロービン・キャメロン」展
2. 引っ越したばかりの店内の様子



119 N Peoria St. #2D Chicago, IL 60607 Wed-Sun 12pm-7pm and by appointment
+1 312 288 8535 contact@shopgoldenage.com
<http://shopgoldenage.com/>